

心 ひろがる技術

MITSUBA

株式会社 ミツバ

株主の皆様へ

■ 株主メモ ■

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日、9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.mitsuba.co.jp/ir/koukoku.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

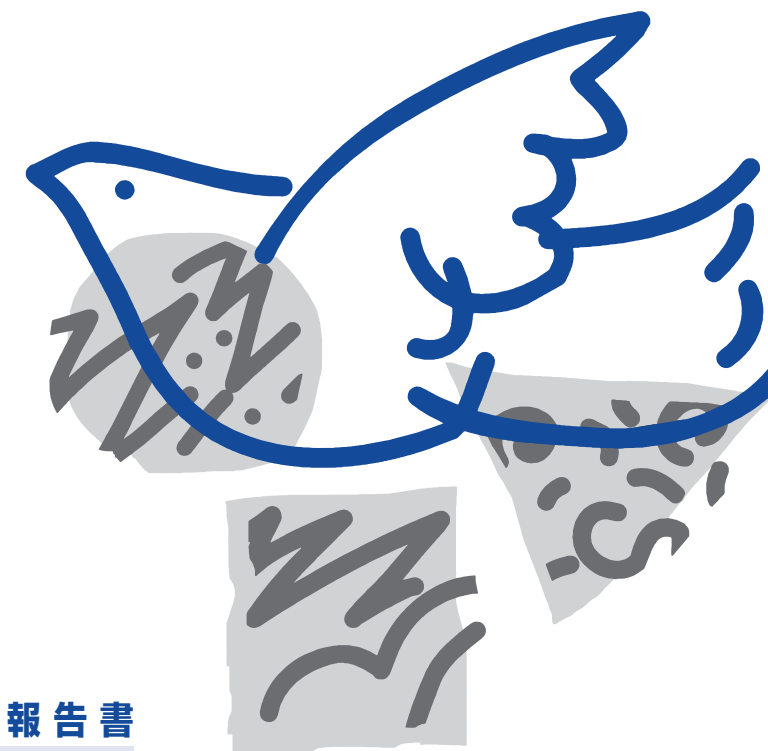
(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求および買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

MITSUBA

〒376-8555 群馬県桐生市広沢町1-2681

TEL 0277-52-0111 (代表)

URL <http://www.mitsuba.co.jp>

第67期中間報告書

目 次

- ごあいさつ
- 連結財務ハイライト
- 財務諸表
- トピックス
- 株式の状況・会社の概要
- 株主メモ

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。さて、当社第67期中間報告書をお届けするにあたり、株主の皆様にごあいさつを申し上げます。

当中間期のわが国経済は、東日本大震災の影響で打撃を受けたサプライチェーンの回復や復興需要等により、個人消費の改善が見られましたが、海外の景気減速、円高・株安等の影響を受けるなど、厳しい経済情勢が続きました。

世界経済は新興国を中心に底堅く推移しているものの、欧州は政府債務危機を背景とした金融市場の不安定化が深刻化し世界経済全体で先行きに対する不透明感が強まりました。

このような状況のなか、自動車業界におきましては、新興国での自動車市場が、引き続き好調を維持し、国内でも東日本大震災に起因する部品供給問題の改善で、自動車メーカーの生産台数も平成23年4月を底に回復基調となりました。

●経営成績

このような環境のなか、当社グループの連結売上高は980億46百万円（前年同期比9.0%減少）、連結営業利益は21億77百万円（前年同期比68.4%減少）、連結経常利益は23億40百万円（前年同期比61.1%減少）、法人税等と少数株主利益を控除し、四半期純利益は1億87百万円（前年同期比93.1%減少）となりました。

【事業の種類別セグメントの業績】

（輸送用機器関連事業）

東日本大震災による自動車生産減少の影響で、売上高は935億60百万円（前年同期比9.3%減少）となり、セグメント利益は21億77百万円（前年同期比68.3%減少）となりました。（情報サービス事業）

売上高は41億48百万円（前年同期比3.8%減少）となり、セグメント損失は1億5百万円（前年同期は39百万円のセグメント損失）となりました。

（その他事業）

売上高は12億96百万円（前年同期比14.9%増加）、セグメント利益は88百万円（前年同期比65.9%増加）となりました。

●今後の見通し

世界経済については、欧州のソブリンリスクを背景とした信用不安や米国の景気回復の遅れにより、引き続き厳しい経済情勢が続くものと予想されます。自動車業界については、歴史的な円高やタイにおける洪水の影響もあり、先行きには依然不透明感はあるものの、アジアの新興国市場は、今後も拡大傾向にあります。

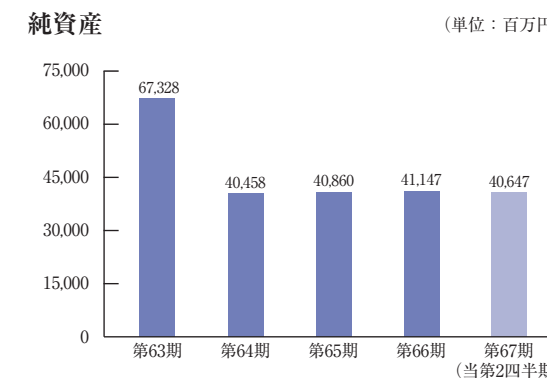
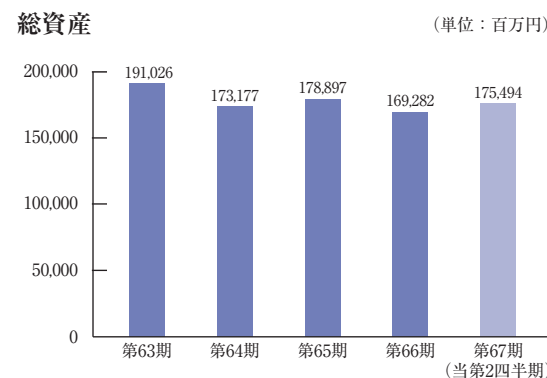
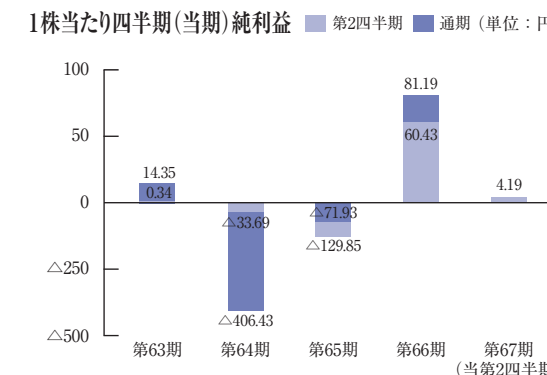
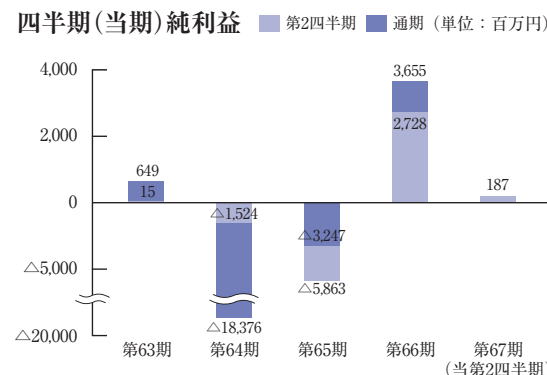
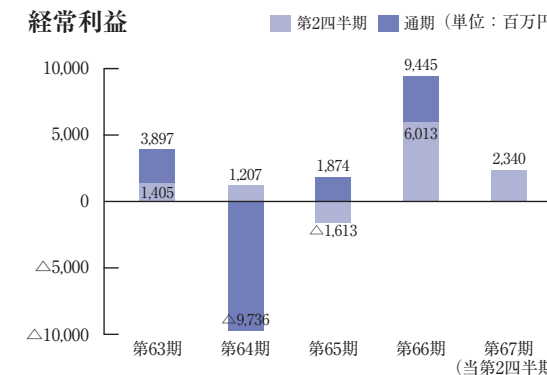
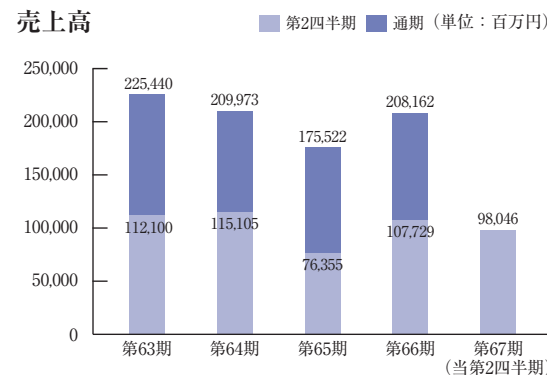
このような環境のなか、当社グループとしましては、グループ力の結集と経営資源の活用により、グループの成長と収益の向上を目指す経営を推進いたします。また新興国への事業拡大と環境車および高級車対応で成長し、QCD（品質・コスト・納期）競争力と固定費削減による収益力の向上で企業体質の強化を実現してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月

取締役社長

阿久戸庸夫



四半期連結貸借対照表

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成23年9月30日現在)
資産の部	
流動資産	97,422
現金及び預金	23,800
受取手形及び売掛金	35,756
有価証券	629
たな卸資産	24,138
繰延税金資産	599
その他	13,081
貸倒引当金	△ 582
固定資産	78,071
有形固定資産	47,814
建物及び構築物	16,608
機械装置及び運搬具	19,286
工具・器具及び備品	2,356
土地	5,341
リース資産	1,395
建設仮勘定	2,825
無形固定資産	4,526
投資その他の資産	25,731
投資有価証券	16,545
長期貸付金	319
長期前払費用	7,063
その他	1,858
貸倒引当金	△ 55
資産合計	175,494

単位：百万円

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成23年9月30日現在)
負債の部	
流動負債	94,665
支払手形及び買掛金	18,971
短期借入金	51,515
1年内償還予定の社債	176
未払金及び未払費用	15,089
未払法人税等	580
賞与引当金	3,031
製品保証引当金	1,175
その他の引当金	702
その他	3,422
固定負債	40,181
社債	300
長期借入金	33,046
繰延税金負債	4,517
引当金	720
資産除去債務	6
その他	1,590
負債合計	134,847
純資産の部	
株主資本	38,656
その他の包括利益累計額	△ 6,236
少数株主持分	8,227
純資産合計	40,647
負債・純資産合計	175,494

要約四半期連結損益計算書

科 目	当第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)
売上高	98,046
売上原価	86,490
売上総利益	11,556
販売費及び一般管理費	9,378
営業利益	2,177
営業外収益	1,515
営業外費用	1,353
経常利益	2,340
特別利益	306
特別損失	401
税金等調整前四半期純利益	2,244
法人税等	1,438
少数株主損益調整前四半期純利益	806
少数株主利益	618
四半期純利益	187

単位：百万円

要約四半期貸借対照表（単体）

科 目	当第2四半期会計期間末 (平成23年9月30日現在)
資産の部	
流動資産	58,722
固定資産	79,337
有形固定資産	19,266
無形固定資産	801
投資その他の資産	59,270
資産合計	138,059
負債の部	
流動負債	72,792
固定負債	34,376
負債合計	107,168
純資産の部	
株主資本	
資本金	9,885
資本剰余金	16,597
利益剰余金	3,047
自己株式	△ 542
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	1,903
純資産合計	30,891
負債・純資産合計	138,059

単位：百万円

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当第2四半期 連結累計期間 (平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,293
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,478
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,443
現金及び現金同等物に係る換算差額	267
現金及び現金同等物の増減額	524
現金及び現金同等物の期首残高	22,523
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△ 216
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,831

単位：百万円

要約四半期損益計算書（単体）

科 目	当第2四半期 累計期間 (平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)
売上高	53,513
売上原価	50,566
売上総利益	2,947
販売費及び一般管理費	4,172
営業利益	△ 1,225
営業外収益	1,872
営業外費用	1,124
経常利益	△ 477
特別利益	145
特別損失	139
税引前四半期純利益	△ 471
法人税等	292
四半期純利益	△ 764

単位：百万円

(平成23年9月30日現在)

●当社の駆動用モータが各レースにおいて、その実力を遺憾なく発揮●

7月30日から31日にかけて、静岡県浜松オートレース場で、「浜松市制100周年記念・ソーラーバイクレース2011」が開催され、当社のプロジェクトチームが昨年に続いて総合優勝しました。

競技は、2kw/hのバッテリーを最大容量とする電動バイクに、ソーラーパネルで得られた電気を供給するというルールで行われ、当社のプロジェクトチームが、2輪および3輪部門にエントリーしました。両部門とも6時間耐久および5周のスプリントレースにて優勝を勝ち取り、2年連続の総合優勝となりました。

また、8月5日から8月6日にかけて、三重県鈴鹿サーキットで、「ソーラーカーレース鈴鹿2011」が開催され、当社の駆動用モータを搭載したチームが好成績を収めました。

「ソーラーカーレース鈴鹿」は、国際自動車連盟公認の1992年から続く歴史ある国際レースで、太陽エネルギーを電源とした電気モータで走行するソーラーカーで競技が行われます。4時間および5時間耐久レースで、当社の駆動用モータを搭載したチームが1位・2位・3位を獲得し、表彰台を独占しました。

電気自動車などの環境車が注目される近年、再生可能エネルギーを利用したレースにおいて、当社の技術力が発揮されています。



(写真1) ソーラーバイクレースで走行する当社プロジェクトチーム



(写真2) ソーラーカーレース鈴鹿2011

●東日本大震災からの復興を願い、福島工場が地域貢献活動●

8月28日、福島県田村市船引町で「第62回灯籠流し」が開催され、当社福島工場が製作した灯籠が、最高賞となる大会会長賞を受賞しました。

同地域の灯籠流しは、先祖や死者の霊を弔うために行われる夏の行事として定着しており、毎年、各団体から趣向を凝らした灯籠が出演されます。今年は、一般の部および学生の部を合わせ計90作品が出演され、去る3月11日の東日本大震災で建物の一部が被災した当社福島工場も、「震災からの復興と震災を乗り越えるために」というコンセプトのもと、従業員が一致団結して灯籠を出展しました。アニメキャラクターを題材にした作品で、家族連れの親子を楽しませ、祭事を盛り立てました。



(写真3) 完成度の高さが評価された福島工場の灯籠

株式の状況

発行可能株式総数 150,000,000株
発行済株式の総数 45,581,809株
株主数 4,306名

会社の概要

商号 株式会社ミツバ
(MITSUBA Corporation)
設立年月日 昭和21年3月8日
資本金 98億85百万円
従業員数 3,854人
事業内容 自動車用電装品の製造・販売

役員

代表取締役会長	日野昇
代表取締役社長	阿久戸庸夫
取締役専務執行役員	河野寿文
取締役専務執行役員	高原勝男
取締役専務執行役員	関根弘之
取締役相談役	小宮博之
取締役	日野茂
取締役	岡田聡(注1)
取締役常務執行役員	木村好正
取締役常務執行役員	久木克彦
取締役常務執行役員	阿部登
取締役常務執行役員	三田賢一
取締役常務執行役員	高橋良和
取締役常務執行役員	桑原新市
取締役執行役員	飯塚淳一
常勤監査役	平井良幸
監査役	塚越紀隆(注2)
監査役	藤原晃(注2)

(注1) 社外取締役

(注2) 社外監査役

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社横浜銀行	2,199	4.90
ミツバ取引先企業持株会	2,132	4.76
日産自動車株式会社	1,742	3.89
日立オートモティブシステムズ株式会社	1,689	3.77
本田技研工業株式会社	1,662	3.71
有限会社サンフィールド・インダストリー	1,550	3.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,532	3.41
セコム損害保険株式会社	1,343	2.99
第一生命保険株式会社	1,296	2.89
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,122	2.50

(注) 持株比率は自己株式778,576株を控除して計算しております。

事業所

本社	群馬県桐生市広沢町1-2681
研究開発センター	群馬県桐生市広沢町1-2681
横浜研究開発センター	神奈川県横浜市戸塚区東俣野町1760
浜松営業所	静岡県浜松市中区東伊場2-6-7 AKビル 3F
名古屋営業所	愛知県名古屋市熱田区尾頭町3-16
大阪オフィス	大阪府豊中市蛍池西町2-14-1
宇都宮オフィス	栃木県宇都宮市宿郷2-7-3 コスモフューチャー21 2F
鈴鹿オフィス	三重県鈴鹿市国府町字市谷3361-5 日本梱包運輸倉庫(株) 鈴鹿センター営業所・赤坂センター内
水島オフィス	岡山県倉敷市中畝2-8-23 岡一ビル2F
広島オフィス	広島県広島市南区西旭町14-24 今村エステートII 2F
九州オフィス	福岡県築上郡築上町湊1067-24
赤城工場	群馬県みどり市大間々町大間々1106
新里工場	群馬県桐生市新里町野598
鬼石工場	群馬県藤岡市鬼石町浄法寺1351
利根工場	群馬県沼田市白沢町尾合300
富岡工場	群馬県富岡市富岡1259
福島工場	福島県田村市船引町北鹿又字沼ノ下100
新潟工場	新潟県南魚沼市山崎新田950